

論文の内容の要旨

論文題目 大学での正課外活動とキャリアレジリエンスの獲得実感の関係

氏名 池田 めぐみ

本研究の目的

本研究の目的は、大学生のキャリアレジリエンスの獲得が期待される正課外活動に焦点を当て、活動におけるどのような側面がキャリアレジリエンスの獲得実感に影響を与えるのか明らかにすることである。

本論文の要旨

本論文は、全5章からなる。第1章では大学においてキャリアレジリエンスの育成が求められている背景および、大学におけるキャリアレジリエンスの獲得について、正課外活動に注目しながら明らかにしていく重要性を論じた。具体的には、まず、働く個人にとってキャリアレジリエンスが求められる理由について整理した後に、成人期以降伸ばしていくことが難しいという指摘、および、大学から社会への移行に伴うメンタルヘルスの問題の深刻化を踏まえると、大学生のうちにキャリアレジリエンスを獲得する必要がある旨論じた。次にキャリアレジリエンスの獲得に関する先行研究と、大学におけるレジリエンスの育成に関する先行研究のレビューから、キャリアレジリエンスの増幅に注目したアプローチの不足を確認し、キャリアレジリエンスの増幅という観点から、正課外活動に注目することの意義について説明した。

第2章では、正課外活動の価値を巡る変遷、その指し示す範囲についてまとめた後に、本研究で扱う正課外活動である、クラブ・サークル活動と正課外プロジェクトの先行研究を概観し、その功績と課題をまとめ、本研究の目的と視座を導き出した。具体的には、先行研究の課題である、正課外活動におけるどのような側面がキャリアレ

レジリエンスの獲得に影響するののかという問いについて検討すること、および、大学教育におけるキャリアレジリエンスの獲得に関して示唆を提供するために、クラブ・サークル活動については学生の行動に、正課外プロジェクトについてはそれに加え、大学の支援に注目し、検討していく必要がある旨を示した。

第3章、研究1では、クラブ・サークル活動を対象に、学生の行動、すなわち、クラブ・サークル活動への学生の取り組み（e.g. 運営に関わる、積極的に参加する）が、キャリアレジリエンスの獲得実感に与える影響について検討した。分析の結果、積極的な関与、目標達成に向けての取り組み、メンバーとの密なコミュニケーション、内省がキャリアレジリエンスの獲得実感に影響を与えることが示された。

第4章、研究2では、正課外プロジェクトを対象に、活動における学生の行動とどのような大学の支援が、学生のキャリアレジリエンスの獲得実感に影響を与えているのかについての検討を行った。具体的には、学生の行動として、積極的な関与を取り上げ、大学の支援である教職員の支援、それに加え、他の学生からの支援がキャリアレジリエンスの獲得実感に与える影響について検証した。分析の結果、学生のキャリアレジリエンスの獲得実感に直接的な影響を与えたのは、積極的な関与、教職員の他律性支援、同期からの支援、先輩からの支援であった。また、教職員の自律性支援は、学生の積極的な関与に影響を与え、間接的にキャリアレジリエンスの獲得実感に影響することが確認された。

第5章では、まず、各章の内容についてまとめ、次に「正課外活動におけるどのような側面がキャリアレジリエンスの獲得実感に影響を与えるのか」という、本研究のリサーチクエスションについて考察を深めた。正課外活動における学生のキャリアレジリエンスの獲得に影響を与える側面には、学生の積極的な関与、教職員の支援や他の学生からの支援といった他者からの支援が挙げられた。(1) 学生は、クラブ・サークル活動、および、正課外プロジェクトに積極的に関わる中で、答えのない課題への挑戦、想定外の出来事への対処、モチベーションの差異への対処、できないと感じて

いた課題のクリア，多様な人との交流などの経験をすることでキャリアレジリエンスの獲得実感を高めていること，(2) それは，教職員や他の学生からの支援により支えられていること，が本研究により確認された。最後に，研究知見を踏まえ，実践的示唆を考察し，本研究の課題と展望について論じた。